

社団法人 未踏科学技術協会

平成20年度 事業報告書

平成20年度、未踏科学技術協会は、多分野にわたる先端的科学技術の総合的、基礎的または共通的な調査研究およびそれらの成果の普及、ならびに情報の交換や国内外の研究者間の交流を図るため、下記のような事業活動を推進してまいりました。

この報告書は、平成20年度の役員の異動を含めて、当協会の活動状況をまとめたものです。

A. 庶務事項

1. 理事会3回（第212回～214回）を開催いたしました。
2. 定例総会2回（第70回、第72回）の他、平成20年度事業計画書および収支予算書の修正、理事選任（追加）に関する臨時総会1回（第71回）を開催いたしました。
3. 平成20年度における理事等の異動は次のとおりでした。
 - ・ 理事、監事の改選（任期 平成20年4月1日～平成22年3月31日）
 - ・ 理事の追加 古川利彦 氏（平成20年12月3日就任、任期 平成22年3月31日まで）
3. 評議員会を1回開催致しました。
4. 平成20年度における会員の異動状況は、[別表1]のとおりでした。

B. 事業活動

1. 調査研究開発の推進

- (1) (株) ソディック新横との共同研究開発「小型高精度リニアモータ用希土類磁石の量産技術及びパルスモータ等に用いる超伝導磁石の実用化技術検討に関する研究開発」を推進いたしました。
(調査研究期間 2008年10月16日～2013年10月15日)

2. 講演会の開催、研究会、委員会等の運営および各種調査・普及活動

- (1) シンポジウム「宇宙とエネルギーと材料の出会い」、セミナー「カーボンフットプリントー最初からの学習ー」を開催いたしました。
- (2) IT イノベーション、MOT、安全・安心、材料イノベーション、資源・エネルギーを題材に特別講演会（6回）、「都市鉱山」に関する新春特別講演会、技術指南処 みとう塾「わかりやすい高分子材料」（全4回）を開催致しました。
- (3) 平成20年度 飯綱・サイエンスサマー道場「進化・発展するナノエレクトロニクス。その本命は？」を開催致しました。
- (4) 消費者環境教育指導者育成研修会を開催いたしました。

3. 外部からの受託・請負事業

- (1) 公的機関からの受託事業の実施
新エネルギー・産業技術総合開発機構から調査研究1件を受託し、それを実施、完了致しました。（調査題目等は[別表2]に記載。）
- (2) 公的機関からの請負事業の実施
物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、国立環境研究所、科学技術振興機構から調査研究、会議運営等10件の事業を請け負い、完了いたしました。

・ 物質・材料研究機構	7件
・ 産業技術総合研究所	1件
・ 国立環境研究所	1件
・ 科学技術振興機構	1件

（調査題目等は[別表2]に記載。）

(3) その他民間からの受託及び請負事業の実施

- ・経済産業省が推進する「カーボンフットプリントの普及活動支援業務および社会受容性調査」に関して、受託元「みずほ情報総研」からの再委託および請負事業として協力いたしました。
- ・新技術振興渡辺記念会の科学技術調査研究助成による3件の調査研究を実施いたしました。
- ・放電加工技能検定実施に協力いたしました。
実技試験に関し、試験の実施への協力および検定用表面粗さ比較標準片および比較測定ゲージの作成。
検定用試験問題作成のための技能検定委員派遣（中央職業能力開発協会）。
- ・新材料、新技術、環境問題に係る調査研究の実施、国際会議の開催、および学会などの運営に事務局として協力いたしました。調査研究項目、会議は[別表2]に記載。

4. 特定研究会の運営

各研究会では次のような事業及び会議を開催いたしました。活動の詳細は[別表2]に記載。

(1) 超伝導科学技術研究会

シンポジウム(1回)、ワークショップ(3回)、運営のための幹事会(7回)、各種委員会を開催し、会員向けの会報(4回)を発行致しました。
超伝導材料研究においてインパクトを与えた人を対象に超伝導科学技術賞の授与式を行いました。

(2) バイオ・ナノテクフォーラム

シンポジウム(1回)を開催し、若手研究者を対象に優秀論文発表に対して高木賞を授与致しました。
バイオ・ナノテクフォーラムイブニングセミナー(6回)を開催いたしました。
また、運営のための幹事会等の各種委員会を開催しました。

(3) エコマテリアル・フォーラム

フォーラム運営のための総会(1回)、企画審議会(2回)、幹事会(3回)等の各種委員会を開催する他、第Ⅱ期活動に向けた活動計画作成委員会(3回)を組織し、活動の見直しを行ないました。
アニュアル・シンポジウム(1回)、ワーキンググループ等の活動としてワークショップ(4回)、またサステナブル懇話会、都市鉱山研究会を開催いたしました。
第9回エコマテリアル国際会議の実行委員会を組織し、2009年11月開催に向けて準備を開始いたしました。
その他、エコマテリアルデータベース Eco-M.C.P.S を更新し、整備いたしました。

(4) ナノ粒子研究会

講演会(4回)、見学会(3回)の開催、ニュースの発行(4回)、運営のための総会(1回)・幹事会(4回)等の各種委員会を開催致しました。
合成、健康・環境影響評価の2つの分科会を定期的に開催しました。
平成21年度で研究会設置期間が終わることから、活動を見直すための検討委員会(7回)を開催いたしました。

(5) 「生命をはかる」研究会

研究会2回を開催しました。
第5回コンビナトリアルバイオエンジニアリング会議を後援いたしました。
その企画運営のための幹事会(3回)を開催しました。

5. 出版・広報事業

- (1) 広報活動の一環として、会報「未踏科学技術」を継続発行(隔月)しました。
- (2) その他、平成20年度に完了した調査研究の成果報告書および平成20年度中に開催した会議の講演録や資料等を多数発行、また発行に協力いたしました。

以上の刊行物の詳細は[別表2]に記載。

- (3) 協会の活動や、主催する行事、事業の広報のためにホームページを作成、更新作業を行いました。